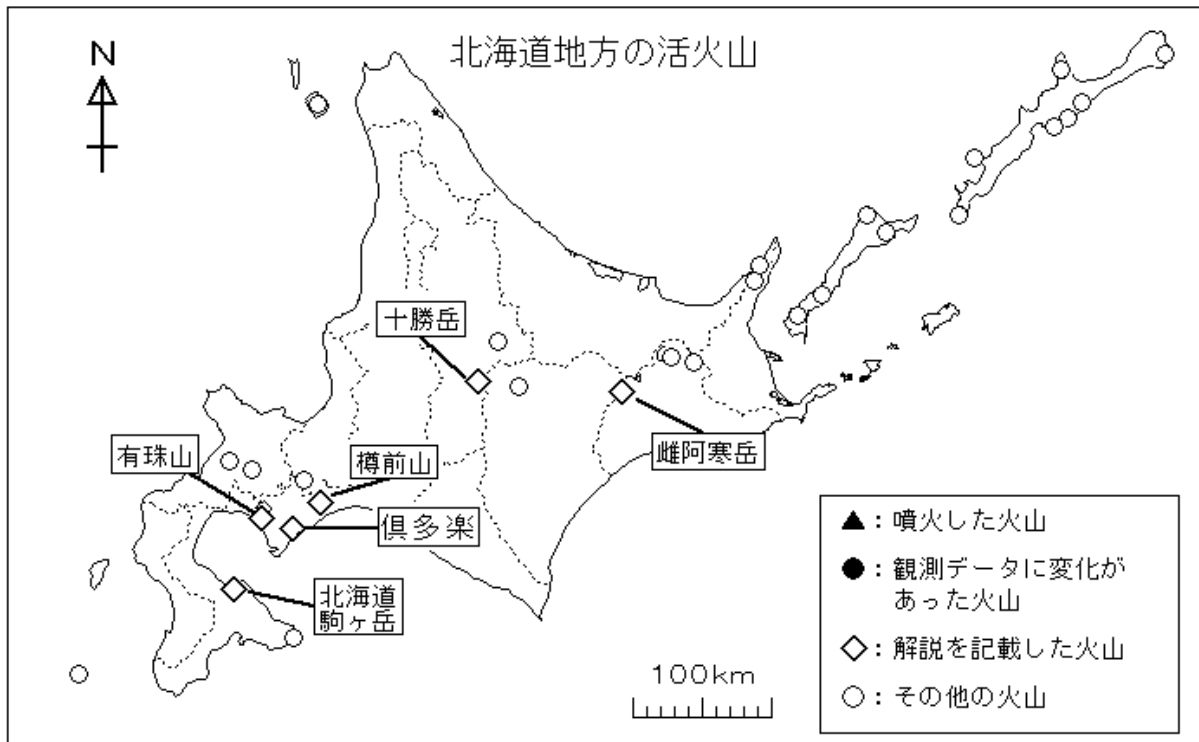


北海道地方の火山活動解説資料(平成 16 年 8 月)

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



8月の北海道内の火山活動は先月と比べて変化はなく、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山ではやや活発な状態が続いています。

雌阿寒岳

ボンマチネシリ 96-1 火口は高温の状態を維持していると推定され、火山活動はやや活発な状態が続いています。

十勝岳

62-2 火口の噴煙活動は依然活発で火口内は高温の状態を維持しており、火山活動はやや活発な状態が続いています。

4月19日以降、火山性微動や有色噴煙は観測されていませんが、同様な現象は今後も繰り返し発生する可能性があります。

樽前山

A火口やB噴気孔群は高温の状態を維持していると推定され、火山活動はやや活発な状態が続いています。

有珠山

火山活動は静穏な状態が続いています。

北海道駒ヶ岳

火山活動はおおむね静穏に経過しています。しかし、山体はわずかな膨張傾向が続いており、昭和4年火口では昨年9月以降弱い噴気が見られています。

1996年から2000年までの間に6回の小噴火が発生しており、噴火発生の数年前に小噴火を繰り返した1929年大噴火や1942年中噴火の前の状況と類似しています。

調査観測を実施したその他の火山(倶多楽)

調査観測の結果、火山活動に変化は認められませんでした。